

「共創」シンポジウム2次会
ちゃぶ台の会
みんなで話そう



ゆるまったり、
まじめになったり、一緒に
食べたり飲みながらコミュニティ
について話しましょう。それには様々な要
素が必要です。沖縄、日本、韓国で活躍さ
れているビッグゲストの3方と共に、コミュニ
ティってどんなの？と思う方も、自分のコミュニ
ティがある方も、そのコミュニティ同士がつながって何かで
きないかな？ と思っている方も、色々話したい方、
ただ聞いてみたい方もいる、そんな多様な要素が
集まり、これから始まるリアルなコミュニティを
「共創」していく会にしたいと考えています。

ご自分のアンテナにピンと来た方は
ぜひ、お越しください♪

※
シンポジウムに参加されなかった
方もご参加頂けます。

日時：3月1日（土）
17：30～21：00
会費：¥2500 定員：50名
※3日前までに要申込み
☆食べ物持ち寄り歓迎☆
(シンポジウムは無料です)
会場：健康道場 サラ・シャンティ 2階
▶阪急神戸線・六甲駅から徒歩約1分
▶JR神戸線・六甲駅から徒歩約8分
住所：神戸市灘区八幡町3-6-19 クレアール六甲
TEL：078-802-5120 ▶▶▶地図は裏面

G u e s t

1

安里英子

1948年那覇生まれ。ライター、沖縄大学非常勤講師。1977年、一人でミニコミ誌「地域の目」を発行。地域の自治、暮らしの問題に関わる。90年代に島々の聖地を回り、開発状況をルポした。朝鮮人軍夫を追悼する「NPO法人・沖縄恨之碑の会」の代表。主な著書に『沖縄、共同体の夢』、『琉球弧の精神世界』など。

2

内山節

1950年生まれ。哲学者。NPO法人・森づくりフォーラム代表理事など。

3

ユ・チャンボック

1960年生まれ。韓国のアーバン・コミュニティ「ソウル市マウル共同体」の中心人物。「ソウル市マウル共同体総合支援センター」のセンター長。

聞き手 **田恩伊**
神戸大学非常勤講師

プログラム：

開場

17：30～

開会挨拶

ゲスト紹介&質疑応答

18：00～19：20

1. 安里英子

2. 内山節

3. ユ・チャンボック

聞き手、田恩伊

ちゃぶ台時間、振り返り

19：20～21：00

申込先/問合せ先 pckevents@yahoo.co.jp
(パーマカルチャー関西 ちゃぶ台の会実行委員会)

“ちゃぶ台の会”実行委員会：田恩伊&パーマカルチャー関西

協賛：

名前のない新聞、販栄い塾、健康道場 サラ・シャンティ、養生舎、シェアビレッジ、空空舎、ソウル市マウル共同体総合支援センター（韓国）、サラムとマウル（韓国）、山上の村（韓国）、アミンズオープン、Salon de AManTo 天人、モモの家、神戸学生青年センター

― シンポジウム、ちゃぶ台 講演内容 ―

☆安里英子 「共同店の希望」

かつて、暮らしをたすけ、人をうみ
いま、新しい価値をうみだす。

※安里英子さんは沖縄の伝統的なユイと共同体（共同店）に相應しい作家であり、
今回シンポジウムの2次会企画「ちゃぶ台の会」に特別招聘されました

☆内山節 「未来の共同体と風土の文化」

人々がバラバラになった社会から、結び合い、支え合う社会へ。この課題は今日では世界共通の目標になりつつある。とともにこの課題の奥には、近代以降の世界を主導した巨大な経済システム技術システム、国家システムなどに振り回されて生きるのではなく、それぞれの人々が自分たちの生きる世界をさまざまな他者とともに再構築し、このローカルな世界を足場にして広く連帯、交流していく世界を創造することによって、現代世界を変革していこうという意志が込められている。とすると、私たちはどのようにしてこれからの関係性の世界をつくりだしていったらよいのか。おそらくその姿は風土の相違によって異なったものになるだろう。なぜなら風土とは、自然と人間の関係や人間と人間の関係の時間的蓄積の上に形成されたものであり、再び私たちがさまざまな他者と手を結び合うような関係の世界をつくりだそうとすれば、それは風土と調和した関係的世界の再創造に向かわざるを得ないからである。本シンポジウムではそのことを踏まえて、日本の共同体とはどのようなものであり、いかに日本の風土と結ばれていたのかを報告する。

☆ユ・チャンボック 「マウル、市民社会の微視的再構成と協力的ガバナンスのために ―ソンミマウルの事例とソウル市マウル共同体政策を中心に―」

「ソンミ山マウル」は住民が主体になって都会に形成した代表的な「bottom-up」方式の住民主導型「マウル（ムラ・村）」の事例だ。これは住民たちが自分たちの生活の中で必要とするものを行政などの財政的な支援に頼らず、自らの資源を動員して築き上げた成果である。ソウル市のマウル共同体支援政策は、こうした生活世界における住民主導の「bottom-up」の主体をより広く形成していく民間の革新と従来の「top-down」方式の行政を変える行政の革新、この二つの革新を目指すものである。これは市民社会の微視的な再構成と新しい市民主体を形成していくプロセスを意味する。生活世界を基礎とする住民たちの協同生活の関係網構築にマウルがあり、これには民と官がお互いのリスクを一定部分背負いながら協力的なガバナンスを構築して行く事が求められる。

サラシャンティへの行き方

● 阪急六甲駅

南④番出口を出て線路沿いに右（西）へ歩き、最初の角を左（南）に下ってください。左手にあるのがサラ・シャンティのある「クリアール六甲」です。

● JR六甲道駅

駅左脇（西側）を北へ向かって商店街を通り阪急六甲駅に向かって、まっすぐ上がって下さい。阪急六甲のある線路にぶつかれば左の大通りに沿って進むと阪急六甲駅の南側（八幡神社の森に沿って）を歩けば。最初の角を左（南）に下ってください。左手にあるのがサラ・シャンティのある「クリアール六甲」です。

